

タイトル： 『 稼働率回復を目指して～その中でみえてきたもの～ 』

キーワード ※3つ記入。

稼働率	法人名	社会福祉法人 釧路啓生会
ニーズの多様化	施設種別	デイ
今出来る取り組み	施設名	在宅サービス 釧路鶴ヶ岱啓生園老人デイサービスセンター

研究者 (取組に関わった方のお名前5名まで)	氏名	職種	備考
①	小島 敬矢	課長	
②	永戸 秀明	相談係長	
③	鈴木 敬三	相談主任	
④	齋藤 淳子	介護副主任	
⑤	野島 史朗	介護員	

## 施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人	経営主体	社会福祉法人
開設年月日	昭和62年3月1日	所在市町村	釧路市
市町村人口	155,806 人	65歳以上人口 (高齢化率)	56,187 人 (高齢化率 35.5 %)
利用者定員数	41 人	利用者平均年齢	85.5 歳
職員数	22 人	職員数内訳	介護職 12 名 看護職 2 名
併設施設・事業	特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・訪問介護・居宅介護支援事業所		
施設のサービスの概要	釧路啓生会では「当施設のサービスを利用する方々が、心身ともに健やかに、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援する。」を基本理念にサービス提供に努めています。		

## 発表の概要

<p>①取り組んだ課題 平成29年度頃までは年間平均70%台の稼働率を維持していたが令和元年頃から徐々に低下。更に新型コロナウイルスの影響も要因となり、一時は月稼働率が40～50%台と低迷した。稼働率を回復する為に検討、実施した。</p>	<p>③活動の成果と評価 ・取り組みを行った結果、年間稼働率70%台まで回復することが出来た。 ・ご利用者のニーズに合わせた送迎対応を行ったことで、新たな課題が発生したが園全体で考えることで改善された。 ・医務だよりをきっかけに新たにご家族との繋がりが出来た。 ・以前までは新規利用者の受け入れに対する職員の意識が低い時期もあったが、現在では積極的な受け入れの為、職員間の相談、提案など意識改革に繋がった。</p>
<p>②具体的な取り組み ・稼働率低下の要因を職員間で検討し、ご利用者のニーズの再確認、運動器の導入、営業活動の見直しを行い、その中で以下の取り組みを行った。 ○ケアマネジャー向けの見学会の実施、PR活動の作成。ご利用者の様子やデイサービスの内容を知ってもらう為、ケアマネジャー向けの見学会を実施。又、運動のニーズに対応する為、運動器の導入。デイサービスの様子や行事風景、運動器の説明等の内容でPR動画を作成した。相談員の名刺にQRコードを入れ新規契約等にご家族やご利用者に見てもらった。 ○ご利用者の生活背景に合わせたサービス提供時間の見直し。「お昼はご飯を食べたくない」「午後から入浴したい」「朝起きられないので午前の遅い時間から利用したい」等、生活背景に合わせたサービス提供時間の見直しを行った。 ○体験利用の見直し。体験利用の目的やご家族やケアマネジャーからの要望等を記載した体験利用シートを作成し、事前に職員間で情報を共有した。又、体験利用後の感想等を記入する事で次に繋げる為の情報の一つとして活用した。 ○医務だよりの作成。健康に対する情報や体にいいバランスの摂れた食品の紹介等を行い、紹介した食品を使った料理を昼食時に提供した。 ○遊びり体操のマンネリ防止 音楽に合わせて身体を動かす遊びり体操を毎月実施。複数回利用している方も楽しめるように1週間、違う遊びり体操を実施した。</p>	<p>④今後の課題 ・人材不足や光熱費、物価高騰など課題は多い。今年度の介護保険改正もあり今まで以上に各事業所の特色や多様化のご利用者のニーズに対応していかなければ稼働率の維持は出来ない。「出来ないではなく、自分たちが出来ること」「実践をしてダメならまた考えて実践する」「出来ないことは園全体で考える」を念頭に、常に「相手の気持ちに寄り添ったケア」を目指していきたい。</p>
	⑤参考資料など

※「応募用紙」とともにメールにて【7月12日(金)】までにご提出ください→ roushikyo@dosyakyo.or.jp まで。